

第5回評価委員会における主な意見の概要について

<(大1)学士課程教育の充実>

○ 計画本文

- ・ 豊かな人間性と高い知性を備え応用力や実践力に富む優れた人材を育成するため、学士課程教育において、国際基幹教育機構による全学共通の基幹教育と、それに接続する高度な専門教育を提供し、設置計画を確実に履行する。
- ・ 分野横断的な科目配置や副専攻の開設など、分野の枠を超えて幅広く学ぶことができる教育課程を編成する。
- ・ 学生の主体的な学修を促進するため、初年次教育やデジタルを活用した教育の充実に取り組む。
- ・ 数理・データサイエンス・AI教育を全学的に推進する。

○ 委員会意見

- ・ デジタルが大学の教育を抜本的に変えていくと思う。大阪公立大学として新しい大学の教育のモデルを作っていくという気構えがほしい。
- ・ 計画番号「大1」のデジタルへの対応にかかる記載について踏み込んでほしい。将来の変化を見通したうえで対応できるように取り組むなど何かしらの形で明確に示してほしい。

<(大5)学習支援>

○ 計画本文

- ・ 学生の学習支援の充実や自主学習環境を充実させるため、学修相談やTA体制の整備、ラーニングコモンズの設置などを行う。また、より効果的に学習支援を行うため、ティーチングスタッフの養成に取り組む。

○ 委員会意見

- ・ ティーチングスタッフは一般的には教員を含めた広い意味で用いられる。TF(ティーチング・フェロー)、TA(ティーチング・アシスタント)、SA(スチューデント・アシスタント)などを指すというのを明確にするよう表現を修正頂きたい。

<(大12)研究力の強化>

○ 計画本文

- ・ 大学としての研究戦略のもとに、国等の計画や施策に対応しながら、若手及び女性研究者の支援や研究の国際化、産学官連携の強化など、各種支援の取組を実施することにより、高度研究型大学の基盤となる研究力を強化する。その研究力をもって、総合知を結集した分野横断的な先端的研究を推進する。
- ・ 特に、若手及び女性研究者への支援を重視し、研究支援や活躍できる環境の整備、博士後期課程・博士課程学生への経済的支援及びキャリア支援などを行う。

○ 委員会意見

- ・ 卓越した研究者を育成する、世界水準の研究を行うということを明記いただきたい。
- ・ 研究力の強化について、挑戦的かつ具体的な達成水準・目標を記載すべきではないか。
- ・ 挑戦的な目標を今設定すべき、或いは、第二期中期計画の際にといった意見もあるが、挑

戦的な目標の策定に向けて行動すべきと考え、法人部分の計画において、リーダーシップを発揮し、挑戦的な目標に取り組むなどを記載してはどうか。
中期計画に書くことが難しい場合は、意見書で意見を出すことや議事録に残すことなど、評価委員会としての対応を議論したい。

<(大13)研究推進体制の整備>

○ 計画本文

- ・ 研究力の強化や大学の強みを活かした研究の推進のため、研究戦略室の設置や研究 IR の実施など、学術研究推進本部を中心とする研究推進体制を整備し、効果的に機能させる。
- ・ 協創研究推進部門の設置や、研究推進機構の下への研究所・研究センターの配置など、組織間の共創を促進する体制整備を行う。
- ・ 学術研究管理部門を設置し、適正な研究活動の推進に取り組む。

○ 委員会意見

- ・ 一般の方に誤解がないように、本文において、学術研究推進本部の下に3つの部門を設けている旨を記載いただくなど、わかりやすい表現にして頂きたい。

<(大19)都市シンクタンク機能・技術インキュベーション機能の整備>

- ・ 都市シンクタンク機能、技術インキュベーション機能の充実・強化に向けて、「イノベーション・アカデミー構想」を推進する。「イノベーション・アカデミー構想」とは、大阪公立大学のすべてのキャンパスに「産学官共創リビングラボ」機能を持たせ、「全学ネットワーク型産学官共創イノベーションエコシステム」を構築するものであり、行政や企業等との一層の共創を図ることを通じて、都市課題の解決と大阪産業の競争力強化に貢献する。
- ・ 大阪の感染症対策を支える拠点形成を図るため、「大阪国際感染症研究センター」を設置し、新型コロナウイルス感染症対策や感染症に強い都市づくりの実現に向けた様々な調査研究に取り組む。

○ 委員会意見

- ・ イノベーション・アカデミー構想と二つの新機能をそれぞれ関連付けていただきたい。二つの新機能のそれぞれがどのように実現されるかを記載いただきたい

<(法1)理事長のトップマネジメント又は(法2)学長・校長のリーダーシップ>

- ・ 理事長は、適切な人事や柔軟な財務運営、効率的・効果的な業務執行体制の整備など、大学の統合効果を最大限発揮できるようにマネジメント力を発揮して戦略的に法人経営を行う。
- ・ 学長は、大学における会議体や組織等の体制を整備し、リーダーシップを発揮して、大阪公立大学、大阪府立大学、大阪市立大学の三大学を円滑に運営する。

○ 委員会意見

- ・ リーダーシップが発揮される体制など、理事長・学長のリーダーシップを重要視すべき。
- ・ 挑戦的な取組にはリーダーシップが必要。研究力の強化の計画において、リーダーシップを発揮し挑戦的な目標に取り組むことについての記載の検討を踏まえ別途議論する。